



向陽高校進路便り 第9号
令和5年4月10日(月)
～高揚寿麟～

28期生共通テストまで

278日

学級掲示用

「今未来手帳」の活用について

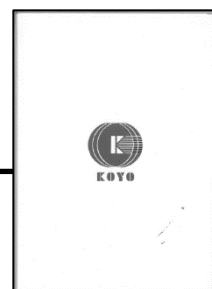
向陽高校では、雄飛6号でも提示した向陽生の課題を克服するため、昨年度より「手帳」を導入しています。昨年度はNOLTYスコラ手帳を使用しましたが、向陽生の実態を踏まえ、手帳をより活用でき自身を振り返り伸ばすことができるものをもと模索し、「今未来手帳」に変更しました。以下、手帳活用の目的や活用例を読み、自己の強みを伸ばし、それを生かすための1冊を、1年間かけて作ってほしいと思います。

1. 目的

日々の計画を立てたり行事や課外活動の記録をつけたりし、その振り返りを行うことで自らの課題を見つけ、自分の行動を調整するためのメタ認知能力を鍛えることで、自主性や自走力を育成する。

2. 手帳の活用例(授業や講演会の際には持参しよう！)

- ①授業や各種集会等に持参し、課題や記録を記入する。
- ②テスト範囲や課題の提出日などを記録する。
- ③自学時間を記入したり、その日の学習や学校生活の振り返りを行ったりする。
- ④週末には1週間の振り返りを行い、翌週の目標を立てる。
- ⑤行事予定を参照しながら短期的、または長期的な学習計画を立てる。
- ⑥振り返った内容を担任や教科担任と適宜やり取りし、成果や課題を把握する。
- ⑦志望理由書や自己推薦書を書く際の材料とする。



今未来手帳には、行事や講話などの感想や部活動の実績、授業を通して導いた考え等を手帳に記録するスペースが設けてあります。こまめに記録していくことで、ポートフォリオ(自己の課題を見つけたり成長を実感したりすることができる)となり、蓄積していくことでキャリアパスポート(自己実現のための道しるべ)となります。これを3年間積み上げ、自らの強みや課題を認知し、3年次の進路決定に向けた確かな土台を築くことができ、進路を考える際や受験期の志望理由書作成にも大きく役立ちます。

まずは取り組んでみることに！授業の際に必携し、メモをとる習慣をつけ、自らを振り返りながら「自走する向陽生」を目指してほしいです。